

令和 6年 2月 17日
学校関係者評価委員会 委員長 北澤 隆之

1 学校関係者評価委員会の構成

委員長：北澤 隆之（PTA会長）
委員：大崎 美代子（元教育委員・元校長）
廣田 香（保護司）
鈴木 健一（岸町一丁目町会長）
高木 基雄（王子田楽衆代表）
山崎 守義（元PTA会長 青少年地区委員）

2 学校関係者評価委員会の主な活動

(1) 7月8日（土）

本校会議室において第1回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、参観。今年度の経営計画、主な学校行事（運動会等）、児童の様子について説明。令和5年度・令和6年度に区教育研究校の指定を受けることから、今後の取組について説明。評価委員より地域の様子等を伺い、意見交換を行う。地域の伝統芸能について、評議委員より説明を受ける。

(2) 12月2日（土）

本校会議室において第2回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、展覧会参観、給食試食を行う。学校経営の様子（中間報告）、校内研究の進捗状況、道徳地区公開講座、学校評価等について協議、意見交換を行う。地域の交通安全、登校班の在り方について協議を行う。

(3) 2月17日（土）

本校会議室において第3回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、参観。学校評価及び次年度の学校経営について協議、意見交換を行う。

3 学校関係者評価の結果と分析

(1) 自己評価と委員評定及び主な意見

* 評価・評定は4段階 4:肯定的な意見が90%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:49%以下

目標	重点目標	自己評価	委員評定	委員意見
自ら学ぶ子	教育目標	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達にいろいろな体験をさせてあげたい。 「きたコン」を使っているの学びは素晴らしい。日常的にICTを活用して授業の工夫をしている。
	学習意欲	4	4	
	基礎基本の定着	3	4	
	授業の工夫	3	4	
	体験的な学習	4	4	
心豊かな子	異年齢交流活動	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 王二小の特色の一つでもある異学年交流は子ども達の成長にとって大変有意義。 公園で遊んでいた中学年の子が低学年の子に声をかけ、送ってあげていた。やさしさがうれしい。
	道徳・心の教育	3	4	
	基本的な生活	3	4	
	楽しい学校	3	4	
いたくまし	体力の向上	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 給食の試食ではメニューが工夫されていて美味しさ食べやすさがある。和食が多いことがよい。 全国学校体育研究優良校受賞は素晴らしい。
	給食・食育	4	4	
	特別支援・教育相談	3	3	
	安全指導	4	4	

				今後も子ども達の体力の向上、健康教育を進めてほしい。
特色ある教育活動	情報の発信	4	4	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の健全育成活動（青少年委員会、青少年地区委員会等の活動）に対し、学校の先生方の理解と協力を得ていることをありがたく思う。 • 地域を学ぶ活動、体験的な活動を今後も取り組んでほしい。 • JRC活動、能登半島地震の義援金募金を代表委員の子ども達が気づき・考え・実行する、行動力が素晴らしい。 • 飛鳥山の3つの博物館等、学校近隣の施設の活用を今後も進めてほしい。
	地域学習 伝統文化 特別授業 NIEなど	3	4	

（2）その他の意見

- 展覧会での6年生のアートガイドが素晴らしかった。保護者や地域の方など来校者に声をかけ、熱心に作品を紹介していた。よい取組なので今後も続けてほしい。
- 先行き不透明な時代を生きる子ども達にとって、「確かな学力を育む」「よりよい人間関係づくり」「すこやかな体づくり」「特色ある教育活動」はいずれも重要。取組の継続・充実を祈念している。
- 地域の安全が心配。町会でもできることを行っていく。子どもが事故に遭わないよう地域・家庭・学校が連携していく。
- 商工会議所と連携した「起業家育成プロジェクト」はよい取組だと思う。地域・保護者にも参観してもらいたい。
- 平日の授業公開について、テレワークも増えてきているので保護者や地域のいろいろなニーズに答えていくことは大切。
- 教職員の働き方。遅くまで業務している先生方の健康が心配である。体に気をつけて無理のない働き方をしてほしい。
- 男性の育休は子ども達にとっても学びの機会ともなる。保護者も理解している。
- 渋沢栄一翁など、王子にゆかりのある先人を学ぶ機会を増やしていきたい。
- 地域の伝統文化、伝統芸能を大切にしていきたい。体験活動を工夫し、ほめてのばしていく。

4 学校関係者評価を受けた改善の方向性

- 教育活動全般に対し、肯定的に受け止めていただいている。教職員に対するあたたかな励ましや働き方について心配の声もいただいている。今後も地域とともにある王二小の特徴を生かし、「チーム学校」として課題の把握と改善に努め、子ども達に、様々な経験の機会を確保できるよう教育計画をたて、子ども達の健全育成に向け尽力していく。
- まちたんけん等の地域を調べるフィールドワーク、「王子田楽」等の地域の伝統文化、伝統芸能を学ぶ活動、北区にゆかりのある偉人等を調べる学習、起業家と連携したアントレプレナーシップ教育、地域人材（書道家、昔遊び、がん教育、そろばん、ラグビー体験、元アスリート等）を招聘した特別授業を充実させ、体験的に学ぶ活動を指導計画に位置付けるとともに、地域に誇りをもつ児童の育成に努める。